

3日、全国で「あべ政治を許さない」スタンディング

愛知 豊橋駅前で30人がスタンディング行動

愛知県豊橋市の豊橋駅前で3日、恒例の「アベ政治を許さない」スタンディング行動が行われました。約30人がプラカードや自作の看板を持ち寄りアピールしました。

主催の「安保法制の廃止を求める東三河の会」は、作家・澤地久枝さんの呼びかけに呼応し、2015年7月から毎月行動しています。同会のメンバーの垣内暎恵さん（74）は「安倍首相に負けてられない。退陣するまでやり続ける。悪政推進の内閣改造じゃなくて内閣退陣を表明してほしい」と話しました。

参加者は「一緒に立ちませんか」と通行人に呼びかけました。名をください」と飛び入り参加し、「共感した。安倍首相になってから何さらに「北朝鮮とアメリカのケンカに日本が巻き込まれるのはばかでも何かできるとは思えない。飛ばさないように努力するのが国の仕事じゃないの。皆さんの行動をSNSで拡散したい」と語りました。



呼びかけ人・澤地久枝さん

三重 津市でも10人が国道を通る車と商店街にアピール

三重県でも3日、「アベ政治を許さない」宣伝が各地で取り組まれました。津市では昼に、だいたて商店街で「憲法を守り生かすみんなの会・津」と「憲法共同センター・みえ」の呼びかけで、10人が「アベ政治を許さない」プラカードを掲げて国道を通る車と商店街にアピールしました。

共産党の中川民英衆院1区候補らが、憲法をないがしろにして国政を私物化するアベ政治を批判し、憲法を守り、国民の暮らしを守るために政治の転換を訴えました。

宣伝に合図する車や、車の中から手を振る人が多くいました。参加した男性（64）は、「これからも来たい。見てくれる人がいるかぎり続けていく。今日は車の人がプラカードをよく見てくれた」と感想を話しました。

安倍内閣の支持率は

支持と不支持が7月以来、再び逆転（共同通信）

共同通信が9月2、3日に実施した全国電話世論調査によると、安倍内閣の支持率は44.5%で、内閣改造後直後の前回8月調査に比べ0.1ポイント増と横ばいでした。一方、不支持率は2.9ポイント増の46.1%となり、支持と不支持が7月以来、再び逆転しました。

また、加計学園の獣医学部新設に関する政府の説明は「納得できない」77.8%で、「納得できる」

16.9%を大きく上回りました。政府が導入をめざす「残業代ゼロ」法案については、59.2%が反対で、賛成は23.3%でした。安倍内閣の疑惑隠し・政治の私物化、そして労働者いじめに国民は怒っています。

支持率は不支持率より上回ったものの、無党派層では不支持率が2倍以上（毎日新聞）

毎日新聞の同時期の世論調査では、安倍内閣の支持率は39%、不支持率は36%で、支持が不支持を上回っています。しかし、全体の50%を占める無党派層に限っては、支持率が20%だったのに対して、不支持率は46%と2倍以上の大差となりました。不支持の理由は「安倍さんを評価していない」「政策に期待できない」が主で、毎日新聞では「支持率の大幅な回復は現状では難しいそうだ」と分析しています。

各地のとりくみ

兵庫 改憲許さぬ意見広告 1万人めざし決起集会

安倍自民党の9条改憲を許さず、活かそうと8月31日、憲法を活かす1万人意見広告運動・兵庫決起集会が神戸市で開催され、150人が参加しました。

憲法改悪ストップ兵庫県共同センターと、自治労や兵教組などを軸とした「戦争をさせない1000人委員会・ひょうご」、9条の心ネットワークが共同する「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会」が主催しました。

憲法共同センターの津川和久代表は、改憲に向けた自民党の動きを示し、「1万人の賛同者を広げ、その一人ひとりがさらに賛同を広げていく。安倍改憲を絶対に許さない県民世論を広げるスタートにしよう」と呼びかけました。

9条の心ネットワークの羽柴修弁護士が憲法をめぐる情勢と1万人広告運動（11月3日付神戸新聞）の到達、行動を提起。自民党や日本会議の動向と共に国民投票を想定したとりくみであることを強調し、最終集約の9月30日をめざした、運動の成功に向けた奮闘を訴えました。

県下各地の9条の会や労働組合など150人が参加しました。訪問活動などで寄せられた賛同の声や全国統一署名と合わせて取り組む決意など活動を交流し、意見交換しました。

香川 香川憲法会議からの報告

9.4「アベ政治を許さない、9条守ろう！」活動交流会

9月4日、香川県教育会館にて、「香川革新懇」「香川憲法共同センター」「9条の会かがわ」共催（「香川憲法会議」協力）による、9.4「アベ政治を許さない、9条守ろう！」活動交流会が開催されました。香川県内各9条の会および地域革新懇の代表や事務局関係者ら約40名が集まり、憲法9条を守る各地域・各団体のとりくみの交流が行われました。この活動交流会は、国政の私物化にほかならない「加計学園疑惑」、南スーダンPKO「陸自日報隠蔽疑惑」による防衛相辞任など、国民的批判のなかで内閣支持率が30%を切っても、なお改憲案を秋の臨時国会に提出すると豪語する安倍政権による改憲策動のなかで、今こそ憲法9条を守り生かそうと活動している県内各9条の会や地域革新



懇関係者らが、それぞれのとりくみを交流するとともに、今後の運動への意思統一を図るためにひらかれたものです。

会の冒頭、香川革新懇の泉敏裕事務局長が開会の言葉を述べた後、9条の会かがわおよび香川憲法会議の安部行洋事務局長（香川高教組委員長）が基調報告を行い、その後9条の会や革新懇関係者らがそれぞれの実践を報告しあい、とりくみの交流を行いました。

基調報告のなかで、香川高教組安部委員長は、安倍政権が「秘密保護法」に次いで「戦争法」を成立させ、「駆けつけ警護」の新任務を付与した自衛隊を南スーダンに派遣し、さらに「共謀罪法」を強行するなど着々と戦争する国づくりをすすめていても、なお安倍政権の前には憲法9条が大きく立ちはだかっている。憲法9条が自衛隊の海外での武力行使を制限する大きな防波堤＝「9条の壁」になっている。安倍首相は日米軍事同盟を強化し、力による世界支配をめざすアメリカとの共同軍事行動展開のため、衆参両院で改憲派が3分の2のうちに自衛隊を憲法に明記し、9条改悪を実行し、「9条の壁」を取り払おうとしている。安倍首相が5月3日に突如打ち出した9条3項への自衛隊「加憲」案は、参院選で力を大きく発揮した「統一戦線」の分断を図る狙いだ。彼らは、国民の多数が9条改憲反対のもとで、野党共闘を分断するために野党間で見解の違う自衛隊を加憲として明記することを苦肉の策として打ち出したものだ。東京都議選での自民党の歴史的な大敗など政権支持率が落ちたからといって改憲の動きが先送りされたなどと考えるはいけない。むしろ、衆参で3分の2を占める今しか改憲はできないと政治生命をかけて執念を燃やしている。私たちは、今こそ、市民の共同、市民と野党の共闘を広げに広げてたたかうことで、安倍政権「3分の2」を打ち破り、9条改憲を絶対に阻止して、新しい政治を切り拓いていかなければならないと訴えました。

次いで各団体のとりくみの交流のなかでは、毎月9日と19日に地域で宣伝活動をしている三豊・観音寺9条の会、「日本会議」系の団体による教育・教科書への介入を許さないとりくみをすすめている教職員組合、労働学校を開催して憲法学習を積み重ねている香川県学習協議会、映画『明日へ』の上映運動を800名の参加で大きく成功させた小豆島9条の会、憲法の暗唱・学習運動をすすめている9条の会かがわのよびかけ人、憲法の文言のすばらしさを語る私立高校国語科教師OB、憲法カフェを継続実施するとともに12月8日には赤紙（召集令状）を配布する宣伝活動によって戦争反対を訴えている新日本婦人の会、毎年5月3日に文化行事・演奏会を取り入れた憲法集会を継続している多度津9条の会、憲法を守り生かす新しい政治を拓くため日夜活動している政党関係者らが次々と発言し、とりくみの交流が行われました。



議論のなかで、安倍9条改憲を許さない運動と核兵器禁止条約とを結んだとりくみをすすめることの重要性も強調されました。そして、①安倍首相による9条改憲の内容・狙い等とともに憲法の素晴らしさを学び生かす「憲法大運動」を旺盛に展開すること、②これまでの総かがりを超える総かがり運動をさらに広げ、有権者の過半数（3000万人）をめざす署名運動（「安倍9条改憲NO！憲法を行かす全国統一署名」）をテコにした大規模な運動を展開すること、③総選挙に備えて全国で結成されてきている小選挙区ごとの市民連合を結成・展開する運動をめざすことなどが確認されました。最後に、香川憲法共同センターの岩部乃之香川県労連議長が閉会の言葉を述べて活動交流会を閉じました。

安倍9条改悪NO！ 全国市民アクション 9.8キック・オフ 集会に、ご参加を！

**「安倍9条改悪NO! 全国市民アクション」
9.8 キック・オフ集会**

9月8日(金) 18時30分-20時30分
(18時開場)
ながのZERO大ホール
(JR中野駅南口徒歩8分)
*入場無料・カンパも歓迎あり

● 発起人あいさつ
● 松元ヒロさんライブ
● ミニ講演
● 市区アクション結成の経過報告
● 行動提記ほか

安倍政権によって特定秘密保護法、安保法制(戦争法)、共謀罪と、憲法を無視した憲法改訂成立せられた。その延長線上に、「憲法に自衛隊を明記して2020年の施行をめざす」とした安倍首相の発言が取り上げられ、「憲法改訂の安倍首相は憲法を語る資格はない」。これが多くの市民の思いです。安倍9条改悪反対の一点で手をつなぐ、野望をくいとめるための「全国市民アクション」(仮称)の発足集会に、ぜひご参加ください。

全国市民アクション(仮称) 発起人 (8/18現在)

有馬頼底 (岡山県特別区議会議員)
内田樹 (神戸大学文学部名誉教授)
梅原 猛 (哲学者)
落合 恵子 (作家)
鎌田 健 (ジャーナリスト)
鎌田 實 (雑誌中央公論名誉院長)
香山リカ (精神科医)
佐倉 信 (ジャーナリスト)
澤地 久枝 (作家)
杉原 泰雄 (元総務省参事官)
瀬戸内 敏晴 (小説家)
田中 優子 (池田大学教授)
田原 統一朗 (ジャーナリスト)
塚崎 淑子 (埼玉大学名誉教授)

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、9条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法9条などの改悪に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

請 願 事 項

- 1、憲法第9条を変えないでください。
- 2、憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

氏 名	住 所

第一次集約 12月20日 第二次集約 4月25日 第三次集約 5月末

呼びかけ団体 **安倍9条改憲NO! 全国市民アクション**

連絡先: 1000人委員会 ☎03-3526-2920 / 9条嫌すな! 実行委員会 ☎03-3221-4668

憲法共闘センター ☎03-5842-5811 / 九条の会 ☎03-3221-5075

署名取り扱い団体